

事業計画書

事業名	「健康づくり・介護予防にどこでも出前隊」
実施箇所	佐久市内の地域サロンや介護予防講座・シニアウォーキング教室など
実施期間	事業開始予定年月日 28年6月上旬
	事業終了予定年月日 29年3月末
事業概要	<p>< 事業の目的 ></p> <p>1・人と人をつなぐレクリエーションを通じて、認知症予防の「頭の体操」や寝たきり予防の「ポール de ストレッチ」など、その場だけでなく自宅でもできる介護予防活動を提供する。</p> <p>2・体力低下・筋力低下・不良姿勢の方たちへ、筋力 UP やバランス向上や体力増進などに有効なポールウォーキングを、基本的な使い方から、「歩く」という動作を再訓練して自立歩行をサポートする。</p> <p>3・地域住民やサークル参加者、元気高齢者に対して、必要に応じていつでも、どこでも自由に簡単実践指導&わかりやすい伝達法で、健康づくりのお手伝いをする。</p>
	<p>< 事業内容 ></p> <p>1・通いの場での歩行機能の向上・運動の継続のサポート (シニアグループの教室への協力)</p> <p>2・地域のサロンへの出前講座</p> <p>3・民間施設 (有料老人ホーム・ミニデイ等) への出前講座</p> <p>4・行政の介護予防教室への出前講座</p> <p>5・住民自主グループへの出前講座</p>
	<p>< 事業の効果・アピールポイント ></p> <p>ポールウォーキングは、健康づくり、介護予防1次・2次・3次予防のすべてに有効！生活機能の低下で徐々に介護度悪化に…歯止めを！！見知らぬ者同士でも結びつけてしまう楽しさ手軽さがあり、仲間同士で楽しんでいる間に、歩行機能が高まり、「交流」「社会参加」を可能にしてしまう。</p> <p style="text-align: center;">【継続性】</p> <p>歩行機能を向上させれば、外出や交流、買い物などの生活機能を維持することができる</p> <p style="text-align: center;">【生活の質の向上】</p> <p>ハイリスク者2次予防事業参加者が、数時間通しで歩けるようになる。</p> <p>認知症予防につながる。 【認知機能維持】</p>
	<p>< 事業における市の役割 ></p> <p>1・地域サロンへの広報 アドバイスや協力</p> <p>2・佐久市の総合事業・お達者応援団などとのコラボ連携</p>

事業計画書

事業名	幸せ呼び込む銭太鼓事業
実施箇所	猿久保東区公会場 他地域集会場 老人ホーム、小学校児童会、幼稚園、病院等
実施期間	事業開始予定年月日 平成28年4月1日
	事業終了予定年月日 平成29年3月31日
事業概要	<p>＜事業の目的＞</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 銭太鼓演奏を慰問演奏や各種イベントでのボランティア演奏などの公益的活動へ発展させる。 2. 広域での交流活動へ発展させ多世代間との交流活動につなげる。 3. 銭太鼓演奏を多世代に体験させることにより、銭太鼓の普及を図り参加者の健康増進につなげる。
	<p>＜事業の内容＞</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 老人ホーム、他地域の「生き生きサロン」、小学生児童会、幼稚園、病院等での慰問演奏を行い且つ参加者に銭太鼓体験演奏をしていただく。 2. 敬老会、小学生児童会、幼稚園誕生会等での交流演奏を行うことで多世代間交流に結び付ける。 3. その他各種イベントに参加（茨城牧場長野支場まつり、社協「佐久市ふれあい広場」等 <p>＜慰問先、ボランティア先予定＞ 佐久市内敬老会、各地の「生き生きサロン」、老人ホーム、小学生児童会、佐久市内老健施設等</p>
	<p>＜事業の効果・アピールポイント＞</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 老人ホーム、各地の「生き生きサロン」、福祉施設、小学生児童会、幼稚園、病院等での演奏と銭太鼓体験により、世代を超えた交流が期待できます。 2. 銭太鼓は座っても、立っても演奏できることから 高齢者が手軽に参加することができ、認知症予防、体力維持、等健康増進に寄与します。 3. 銭太鼓を市内に普及させることで、①高齢者の居場所づくり②高齢者の仲間づくり③生きがいがづくりが出来ます。
	<p>＜事業における市の役割分担＞</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 銭太鼓活動が行える、施設や団体の紹介をお願いします。

事業計画書

事業名	行き場・居場所としての【ふれあいサロン】の充実
実施箇所	高齢者生協東信地域センター研修室ほか
実施期間	事業開始予定年月日 2016年4月1日
	事業終了予定年月日 2017年3月31日
事業概要	<p><事業の目的></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 定年退職や子育てを終わった方、中高年代からの社会参加の場として、【ふれあいサロン】を定期開催し、いつ来ても何かやっていて多種類の趣味が楽しめる【行き場・居場所】となり、生きがいやイキイキと暮らすきっかけとなる活動を展開する。 2. 受身でなく積極的に人と触れ合い、趣味や創作で心身を刺激し、寝たきりや認知症を遅らせ、各々の自己実現ができる場をつくる。 3. 子どもにも目を向け支援のあり方を探り、安心な地域づくり活動を目指す。
	<p><事業内容></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「ふれあいサロン・居場所」を開設し、高齢者などが閉じこもりや孤独でなく、元気な暮らしが継続できる「行き場」をつくる。 カゴ編み・絵手紙・麻雀囲碁将棋・百人一首・ハモニカなどの【サロン】を中心に、新たな出会いによる仲間づくり、趣味や手づくりの楽しさなど、ニーズに応じた生きがいづくり、さらに「他者を支える場」に発展させる。先進活動グループと連携することで効果を挙げたい。 2. 【脳イキイキ楽習塾】は主に組合員同士の勉強会で、これを広く地域に発信し認知症予防や行方不明対応を考える場にする。 3. 【公開講座】を開催し、深刻化する介護問題や見えにくい貧困の課題などを学習し、どこでも始められる地域での助け合いや安心な地域づくりを考える。 4. 先進地を視察、交流し学ぶ。
	<p><事業の効果・アピールポイント></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 【脳イキイキ楽習塾】や【ふれあいサロン】に参加することで、孤独や閉じこもりを防ぎ、認知症の進行を遅らせる。 2. 居場所や行き場を作ることで人と触れ合い、仲間で楽しいことや、やりたいことが実践でき、【生きがい】に発展でき、健康寿命の延長につながる。 3. 地域のニーズ発掘とそれを叶えるいつ来ても良い安心な居場所になる。 4. 高齢者が住みよく、子どもや若者にとっても暮らしやすい、【老いても安心な地域づくり】を、高齢化のとくに進む白田地域で考える仲間・人材が増える。
	<p><事業における市の役割></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. サロン・居場所作りの継続性や新たな課題へのアドバイス 2. 居場所作りと佐久市の総合事業などとの連携。介護保険の問題や子ども食堂など貧困問題と行政の計画とコラボする工夫は無いかなど、ともに探りたい。

事業計画書

	佐久の縁が和(輪)ぼっこ
実施箇所	地域の居場所（佐久市下小田切135-5）
実施期間	事業開始予定年月日 28 年 4 月 1 日
	事業終了予定年月日 29 年 3 月 31 日
事業概要	<p><事業の目的></p> <p>①地域に居場所をつくることにより、みんなで支えあう地域力を高める。②気軽に居場所に参加することで、いろいろな縁が生まれ、理解し合い共に成長できる。③声を掛け合うことでひきこもり予防になり、こころの健康の保持・増進を目指す。④学習会・教育文化DVD上映など学ぶ機会を増やし、地域の文化交流を促進する。⑤本会の活動で得た情報を発信し、市内あちこちに居場所が広がるように協力をしていきたい。</p>
	<p><事業の内容></p> <p>毎週日曜の午前に、地域の居場所として「えんがわぼっこ」を空き部屋を借りて開いている。毎回行うテーマについては、市民の運営委員12人が毎月運営会議を開き、前月の振り返りと翌月のテーマについて話し合う。そこで決まったことを、地元の山下新聞店「ご近所かわら版」（臼田地域と野沢地域の全読者に配布されている）。しっかり学ぶことと楽しく交流するという二つの任務を果たすようにしている。</p>
	<p><事業の効果・アピールポイント></p> <p>①居場所としての地域の理解が広まっており、初年度一回平均10,7人より昨年13,3人と増えてきている。②社会的弱者である心の病む人、高齢者、一人暮らし、連れ合いを無くした人などが「ここは、安心が出来てホッとすると」参加されている。③昨年夏ごろから注目度が増えており、県の「縁側づくり」の基調講演をはじめ、市民活動団体・県高齢協・社会福祉士会・退職看護職の会などより、講演依頼が続いている。</p>
	<p><事業における市の役割分担></p> <p>地域の居場所という内容や性格から、社会的弱者の人々が支えあう組織なので、ここでお金を生み出す事業は極めて困難です。公的機関である市の立場から年間わずか数万円という毎年団体支援を3年期限でなくずっと支援をこころよりお願いします。補助金がなくなると継続の困難さは一段と厳しくなります。</p>

事業計画書

事業名	婚活パーティ2016 セタコン
実施箇所	佐久市コスモホール
実施期間	事業開始予定年月日 平成 28 年 6 月 1 日
	事業終了予定年月日 平成 28 年 7 月 9 日
事業概要	<p><事業の目的> 少子化対策、地域振興の一環として、お見合い結婚の減少や仕事の忙しさにより出会いの機会が少ない独身男女に新たな出会いの場を提供する。</p>
	<p><事業の内容> 臼田地域にあるコスモホールの調理室・ホールを使用し、お料理婚活パーティーを行う。参加者は男性・女性20名ずつとし、ポスター及びチラシ、インターネット等を通じて募集する。参加費は男性5000円、女性3000円とする。調理という共同作業のあと参加者、青年部含めた試食、パーティーを行う。共同作業を行うことによって緊張を解くことができカップル成立の確率が上がる。ポスター・チラシ類は臼田地区を中心に佐久市全域に掲示、配布する。当日に会場設営、交通の誘導、飲食物の提供、イベント進行、片付けは青年部員主導にて行う。</p>
	<p><事業の効果・アピールポイント> 調理時には、地物と食材のアピールを兼ねて、できる限り地元食材を用い、また乾杯は地酒で行うなど、佐久臼田を身近に感じてもらう工夫をする。また、参加者には1ヶ月後に迫る夏祭り「臼田よいやさ」の告知をし、連絡先の交換などでカップル成立の際には青年部事業の来店にて使えるクーポン券を贈り、地域行事の発展へとつなげていく。インターネット、フリーペーパー、FM佐久平、佐久ケーブルTV等のメディアを利用し臼田地区における本イベントの広報活動を行い、臼田地区でビジネスベースではなく商工会青年部が主催する婚活パーティーに於ける地域活性化をアピールする。</p>
	<p><事業における市の役割分担> 佐久市公共施設や広報等に本事業の案内を掲示することで、市民の皆様に広く周知する。臼田地区にあるコスモホールを使用することにより、公共施設利用をより気軽にできる事を市民の皆様に周知する。</p>

事業計画書

事業名	「写真でみるおらが村の学校」展
実施箇所	旧大沢小学校(本館)
実施期間	事業開始予定年月日 平成28年5月16日
	事業終了予定年月日 平成28年8月31日
事業概要	<p><事業の目的> 日本の近代学校教育は明治5年の「学制」が公布されたことにより始まった。当初の学校施設の多くは、江戸時代からの寺子屋や私塾と同様、寺院や民家を仮校舎としてスタートした。その後徐々に教育制度の整備や就学児童の増加、教員の確保等が進むにつれ次第に近代化にふさわしい初等教育施設としての学校が造られるようになった。当時の学校建設は各村々にとって大事業であった。とりわけ建設資金の大部分が村人の寄付によって賄われた為住民の負担は大きかった。それにもかかわらず、「新しい時代は新しい学校を」の考えの下、どの村も競うように立派な校舎を建設した。旧中込学校ほどではないが、塔屋や玄関の上にバルコニーを設けた学校もあった。学校建築は明治後期以降次第に類型化の傾向になるが、およそ一世紀に渡って続いた木造校舎も今ではほとんど見られなくなった。明治・大正・昭和と日本の初等教育を支えてきた木造校舎がどんな学校だったのか、佐久市内にあった今は無き「おらが村の小学校」を写真で振り返ってみたい。</p>
	<p><事業の内容> 佐久市内の旧々町村にあった木造校舎の写真パネルにして紹介及び校舎の沿革、規模等を略記する。同内容のリーフレットの作製。写真パネルは必要に応じて展示する。</p>
	<p><事業の効果・アピールポイント> ・かつては、どこの町村にもあった木造の小学校は、地域文化の中心的存在であった。明治の先人が貧しい暮らしの中で、新しい教育に希望を託した熱意の表れが学校建設であり、当時の村人思いを偲ぶ事が出来る。 ・忘れかけていた「おらが村の小学校」を写真で振り返ることにより、一世紀に渡る郷土の歴史を思い起こし、地域の絆や郷土愛、世代間の交流等が図られる。 ・旧々町村ごとにあった木造校舎の写真が一同に展示される事により、各学校の特徴や違いが分かり、当時の村人が学校に寄せた思いがどんなところにあったのか理解できる。 ・同時代に出来た旧大沢小学校での写真展は、明治の木造校舎としての共通点も多く、今は無き他の小学校の理解に役立つ。</p>
	<p><事業における市の役割分担> ・展覧会の宣伝、PRにご協力頂きたい。 ・旧大沢小学校施設の保存だけでなく活用も図っていただきたい。</p>

事業計画書

事業名	第5回わんぱく相撲佐久場所
実施箇所	野沢大伴神社(佐久市野沢110)
実施期間	事業開始予定年月日 平成28年 5月 29日
	事業終了予定年月日 平成28年 5月 29日
事業概要	<p><事業の目的>相撲を通し、子どもたちには道徳心を重視する中にも全力で相手と向き合う尊さを体感してもらうこと、また歴史や伝統文化を体験し、気力と体力を養うとともに、礼法の実践を通して他人を思いやる心や感謝の心を育むこと、仲間の応援や一緒に食事をする中で、絆やふれあいの大切さを体感してもらうことを目的とします。そして大人にとっても子どもたちが真剣に、生き生きと、負けることを恐れずに一生懸命相撲に取り組む姿を目の当たりにすることで、刺激を受けるとともに、子どもたちに成長の機会を与えることがいかに尊いことか、実感していただきます。</p>
	<p><事業の内容>【日時】2016年5月29日(日)9:00~14:30 【会場】晴天時:野沢大伴神社 雨天時:野沢小学校体育館 【大会形式】小学校(男女)3~6年生による個人戦及び団体戦(男子のみ)100名以上の参加を目標とします 【参加資格】小学校3年生から6年生の男女 <部門> 【個人戦】男子4部門 女子2部門 【団体戦(男子のみ)】2部門 【参加費】200円(保険料・ドリンク代) 【申込方法】小学校等を通じて配布した所定の申し込み用紙により受け付ける 【参加者募集期間】4月11日(月)~5月23日(月)</p>
	<p><事業の効果・アピールポイント>わんぱく相撲を通じて、子どもたちの健全な体や道徳心が培われます。さらには、お互いを敬い、仲間を応援することにより、子どもと子どもの絆、子どもと大人の絆も深まります。それが生きる力や自立心の向上、郷土愛を育み、佐久地域の活性化につながると考えます。</p>
	<事業における市の役割分担>なし